

# 施策評価(平成30年度)

## 1 基本項目

基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち
基本施策	2	学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成
施策	4	子ども・若者
基本方針		
子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援します。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">子どもや若者の育成支援</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">学童クラブ事業の充実</a>	計画どおり完了	A	A	A	実施主体の見直し
<a href="#">児童館事業の充実</a>	計画どおり完了	A	A	A	実施主体の見直し
<a href="#">放課後子ども教室の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策4「子ども・若者」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援することであり、「子どもや若者育成支援」では、ひきこもりに関する講演会を開催し、悩みを抱える子どもや若者に対する支援に取り組んでいる。また、「学童クラブ事業の充実」及び「児童館事業の充実」では、児童館及び学童クラブ事業充実のための運営方法の検討会を実施したことや、児童館施設の修繕に取り組んだことなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
--

1.基本項目		作成部署	子ども家庭部		児童青少年課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 子どもや若者の育成支援		平成 29 年	継続	自治事務	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	子育て支援課					
基本目標1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	4	子ども・若者	管理No.	25

2.事業の概要

施策の基本方針	子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援します。
事業内容	若年無業者(ニート)やひきこもりなど、若者の自立をめぐる問題や、児童虐待、いじめ、不登校、有害情報の氾濫などの課題に対応するとともに、子ども・若者支援地域協議会(仮称)の設置を検討します。また、ひきこもり等の問題を抱える若者やその家庭を支援するため、講演会や相談会などを実施します。
根拠法令	子ども・若者育成支援推進法
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	ひきこもりに関する講演会(一般向け)の実施 ひきこもりに関する講演会(民生・児童委員向け)の実施 出張相談会(東京都ひきこもりサポートネット)の実施 子ども・若者支援地域協議会(仮称)の設置検討	同左  東京都や関係機関との連携  同左	同左  ひきこもりに関する相談会の実施(相談会4回、家庭訪問 4件)  子ども・若者支援地域協議会(仮称)の設置検討結果の反映	同左  ひきこもりに関する講演会(民生・児童委員向け)の実施  同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	65	113	603	603
人件費(係長職)	199	199	199	199
人件費(主任・主事職)	167	167	167	167
総事業費(合計)	431	479	969	969
国庫支出金				
都支出金			283	
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	431	479	686	969
財源内訳(合計)	431	479	969	969

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	9	円
イ 対象者	22,192	人における1人あたりのコストは、	22	円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
		のコストは		円

※ 対象者: 子ども・若者(0歳~39歳まで)の人数

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

ひきこもりに関する講演会を1月27日(日)に開催。11名の参加があった。  
子ども・若者支援地域協議会については、新たに設置することなく、既存の支援機関で活用する等、市の実情に即したものとなるよう検討した。また、その内容を「子ども・子育て支援事業計画」にも、盛り込む方向性で検討を進めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	113		113	42	37.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	1人	40 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○ひきこもりに関する講演会(一般向け)の実施 ○出張相談会(東京都ひきこもりサポートネット)の実施 ○子ども・若者支援地域協議会(仮称)の設置検討	○ひきこもり講演会の実施 1回 ○出張相談会(東京都ひきこもりサポートネット)は、都で採択されなかったため未実施 ○子ども・若者支援地域協議会(仮称)は、新たに設置することなく、既存の支援機関を活用する方向で検討。

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市公式サイトで支援機関を周知するとともに、講演会を開催することで、悩みを抱える子どもや若者に対し社会の一員として、心豊かで健やかに成長するように支援することができた。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

ひきこもりなど自立をめぐる問題を抱える若者やその家庭を支援するため、ひきこもりに関する講演会を引き続き開催するとともに、広報紙や市公式サイトで支援機関等を周知していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	子ども家庭 部			児童青少年課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 学童クラブ事業の充実		昭和 47 年	継続	自治事務	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	4	子ども・若者	管理No.	26

2.事業の概要

施策の基本方針	子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援します。
事業内容	経営形態や運営方法について検討し、家庭に代わる児童の生活の場となる学童クラブ事業の充実を図ります。
根拠法令	
条例	羽村市学童クラブ条例 他
要綱等	羽村市学童クラブ条例施行規則

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	学童クラブの運営・管理 12学童クラブ	同左 12学童クラブ	同左 12学童クラブ	同左 12学童クラブ
	プロジェクトチーム設置による運営方法の検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	同左 検討結果の反映	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	480 H	1人	480 H	1人	480 H	1人	480 H
主事・主任職	1人	1,500 H	1人	1,500 H	1人	1,500 H	1人	1,500 H

②事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	87,322	95,447	-	-
人件費(係長職)	2,387	2,387	2,387	2,387
人件費(主任・主事職)	4,994	4,994	4,994	4,994
総事業費(合計)	94,703	102,828	7,381	7,381
国庫支出金	21,808	23,071		
都支出金	27,586	28,776		
受益者負担額				
その他特定財源	28,231	28,791		
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	17,078	22,190	7,381	7,381
財源内訳(合計)	94,703	102,828	7,381	7,381

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 1,846 円  
 イ 対象者 636 人における1人あたりのコストは、 161,679 円  
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円  
 ※ 対象者: 市内12学童クラブの合計定員数

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

児童館及び学童クラブ事業充実のための運営方法の検討会(プロジェクトチーム)を2回開催し、平成31年度の待機児童数を予測し、待機児童対策について具体的な提案を出した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	95,447	3,200	98,647	94,729	96.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	480 H	1人	360 H
主事・主任職	1人	1,500 H	1人	1,500 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○市内学童クラブの運営 ○プロジェクトチームの開催	○市内12学童クラブの運営 ○プロジェクトチームの開催(年2回) 9月、2月

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

12学童クラブを運営・管理する中で、一時的に待機児童が発生したが、入所を希望した児童に対して、心豊かに健やかに成長するような支援ができた。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

学童クラブに勤務する職員は現在、羽村市の嘱託職員であるが、会計年度任用職員へ移行する令和2年度に、職員に関する労務管理を、民間事業者へ委託する事を検討する。

**【今後の取組方針】**

児童館及び学童クラブ事業充実のための運営方法の検討会(プロジェクトチーム)の中で、学童クラブの職員の労務管理を検討していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	子ども家庭 部		児童青少年課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 児童館事業の充実		昭和 57 年	継続	自治事務	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	4	子ども・若者	管理No.	27

2.事業の概要

施策の基本方針	子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援します。
事業内容	子どもの活動を支える中心的施設である児童館で実施する各種事業や各種機器・設備の充実に努めるとともに、経営形態や運営方法について検討・充実するなかで、子どもの居場所を確保していきます。
根拠法令	
条例	羽村市児童館条例
要綱等	羽村市児童館条例施行規則

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	児童館の管理・運営 3館	同左 3館	同左 3館	同左 3館
	杏林大学等との連携事業の 実施	同左	同左	同左
	プロジェクトチーム設置によ る運営方法の検討	同左	同左 ※事業を検討する中で事業 費を算出	同左 検討結果の反映

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120 H	1人	120 H	1人	120 H	1人	120 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	480 H	1人	480 H	1人	480 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	31,443	33,086	35,822	-
人件費(係長職)	597	597	597	597
人件費(主任・主事職)	1,598	1,598	1,598	1,598
総事業費(合計)	33,638	35,281	38,017	2,195
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源		27	27	
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	33,638	35,254	37,990	2,195
財源内訳(合計)	33,638	35,281	38,017	2,195

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	633	円
イ 対象者	9,294	人における1人あたりのコストは、	3,796	円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
				円

※ 対象者：平成30年4月1日の青少年人口(0歳～18歳)

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

- 児童館の施設修繕(東児童館の空調設備修繕、西児童館の照明設備修繕等)・各事業の計画及び実施
- 杏林大学教授による研修会の実施(平成30年9月12日開催:アレルギーを持つ児童の注意点及び発作事例とその対応について)
- 運営方法の検討会の実施(2回)9月、2月

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	33,086	▲ 2,937	30,149	29,439	97.6%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120 H	1人	120 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	450 H

④事業量(活動量)

実施計画	→	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童館の管理・運営</li> <li>○杏林大学との連携事業の実施</li> <li>○プロジェクトチームによる運営方法の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童館の施設修繕・各事業の計画及び実施</li> <li>○杏林大学教授による研修会の実施</li> <li>○運営方法の検討会の実施(2回)9月、2月</li> </ul>

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手 率 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成 効 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

限られた予算の中で、施設の修繕を実施し来館者に快適に過ごしていただけるような環境を提供できた。また、年間を通じて、様々な事業を実施することで、子どもが心豊かで健やかに成長するような支援ができた。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

児童館に勤務する職員は現在、羽村市の嘱託及び臨時職員であるが、会計年度任用職員へ移行する令和2年度に、職員に関する労務管理を含めた運営方法について、民間事業者へ委託する事を検討する。

**【今後の取組方針】**

児童館及び学童クラブ事業充実のための運営方法の検討会(プロジェクトチーム)の中で、児童館の民間委託を検討していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	子ども家庭 部		児童青少年課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 放課後子ども教室の推進		平成 23 年	継続	自治事務	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	4	子ども・若者	管理No.	28

2.事業の概要

施策の基本方針	子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援します。
事業内容	放課後子ども教室を推進するため、地域の協力を得て、見守りや自主的な活動を支援していきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市放課後子ども教室実施要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	ボランティアの協力による放課後子ども教室の運営 小学校7校	同左 小学校7校	同左 小学校7校	同左 小学校7校
	ボランティア参加への呼びかけ	同左	同左	同左
	コーディネーター体制の充実 (地域との連携強化等)	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	50 H	1 人	50 H	1 人	50 H	1 人	50 H
主事・主任職	1 人	300 H	1 人	300 H	1 人	300 H	1 人	300 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	7,299	7,504	7,504	7,504
人件費(係長職)	249	249	249	249
人件費(主任・主事職)	999	999	999	999
総事業費(合計)	8,547	8,752	8,752	8,752
国庫支出金				
都支出金	3,698	3,765	3,765	3,765
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	4,849	4,987	4,987	4,987
財源内訳(合計)	8,547	8,752	8,752	8,752

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	157	円
イ 対象者	867	人における1人あたりのコストは、	10,095	円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
				の コストは

※ 対象者: 放課後子ども教室登録人数(H30.5)



**Do【実行】**

**5.実施結果**

- 計画どおり完了     計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)     遅延     中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

- 小学校全校で実施しており、年14回放課後子ども教室運営委員会を実施した。
- ボランティアの確保のため、広報紙及び市公式サイトへの記事の掲載、シルバー人材センター及び社会福祉協議会、ゆとりぎへちらシの配布を依頼した。
- 全校週2日開催を目指し、学校と協議した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	7,504		7,504	6,851	91.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	300 H	1人	300 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○連絡会議の実施 1回 ○運営委員会の実施 各校年2回	○連絡会議の実施 1回 ○運営委員会の実施 各校年2回

**Check【評価】**

**6.事業の評価**    S…より適切なもの    A…適切なもの    B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

児童員会議や運営委員会を通じて、ボランティア等の地域の協力を得て見守りや自主的な活動を支援することができた。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

- 現状のまま継続     レベルアップ     縮小     実施主体の見直し     休止・廃止     完了

【改善点】

【今後の取組方針】

ボランティアの発掘を平成30年度同様に積極的に行っていくとともに、メール配信など新たな募集方法についても研究していく。また、放課後子ども教室の全校週2日開室に向けて、引き続き学校と協議検討していく。遊具の補充やボランティアを活用し、事業の充実を図っていく。